

永和中学校体育館の暑さ対策は

石崎 誠子議員

改築か大規模改修に併せて空調整備する
教育部長



問 永和中学校体育館の健全度調査の状況は。改築または大規模改修の判断は、いつ行われるのか。

答 8月末に体育館躯体のコンクリートコアを採取し、耐力度を調査している。県教育委員会による内容聴取も踏まえ、今年度内に判断したい。

問 検査結果は、出ているのか。結果次第では、体育館の使用を即時中止する考えか。

答 検査結果は令和6年10月下旬を予定。使用中止については、現時点ではお答えできない。

問 改築または大規模改修、いずれにしても涼しい体育館になるには時間を要する。子どもたちを熱中症から守るために既存体育館にエアコンの設置、もしくは大風量のスポットエアコンのリースなどをして、涼しい環境下で学校生活を送らせて

あげることは出来ないか。老朽化対策を実施している間の暑さ対策は。

答 安全に学校生活等が送れるよう、大型扇風機の再配置も含めて学校関係者等と連携していく。健全度調査に基づき予定する改築または大規模改修の実施に併せて空調設備の整備を進めたい。

問 永和小学校体育館の入り口付近で天井崩落の可能性があったようだが、どのような状況か。

答 雨漏りにより天井材が浮き、一部崩落の危険があったが、7月31日に修繕は完了している。



▲公共交通空白地域（赤色部分）の移動手段の問題をどうするのか

問 永和中学校体育館のように、永和小学校体育館も天井から部材が落下するのではないか不安だ。入り口以外も、防水シートの剥がれ等を確認したのか。チェック体制は。

問 巡回バスの運用についても従来の枠を超えて議論し、さらなる市民の利便性向上の取り組みを進めるべきでは。地域の暮らしを支える交通施策に対する市長の考えは。

答 全市一律で巡回バスを続けていけばいいのかを議論しなければならぬ時期に来ている。市にとって、必要な方々に対する移動手段の確保の施策を検討・研究していかなければならない。

地域の実情に合わせた公共交通を